

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和5年10月4日(2023.10.4)

【公開番号】特開2022-90790(P2022-90790A)

【公開日】令和4年6月20日(2022.6.20)

【年通号数】公開公報(特許)2022-110

【出願番号】特願2020-203301(P2020-203301)

【国際特許分類】

B 27B 5/36(2006.01)

10

B 23D 45/14(2006.01)

B 27B 5/20(2006.01)

【F I】

B 27B 5/36

B 23D 45/14 A

B 27B 5/20 B

【手続補正書】

【提出日】令和5年9月26日(2023.9.26)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

図9に示すように支点部51Xと力点部51Zを結ぶ第1線(距離L1)と、支点部51Xと作用点部51Yを結ぶ第2線(距離L2)とが概ね120°程度の鈍角を有している。これにより、レバー部材51は、支点部51Xを中心として概ねV字形(山形)に屈曲した形状を有している。支点部51Xと力点部51Zとの間の距離L1は、支点部51Xと作用点部51Yとの間の距離L2より大きくなるようにアーム部51cの傾動部31からの突き出し量が適切に設定されている。距離L1 > 距離L2の設定によりレバー部材51を梃子として機能させることができる。これにより少ない操作力で切断機本体10の左右傾斜位置を微調整をすることができる。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

【図5】

